

謹んで新年の お慶びを申し上げます

年頭の挨拶

町民の皆様、新年あけましておめでとございます。

希望に満ちた輝かしい平成二十五年の初春を、ご家族お揃いで健やかに迎えのことと、

心からお慶び申し上げます。

私は町民皆様の温かいご支援をいただき由緒ある上ノ国町の町長に就任以来今日に至るまで一貫して、私の町政執行の基本姿勢である「わたしたち町民一人ひとりが現状を自覚し、そして一人ひとりがこの町を変える」という意思を表してくれる」ということを確信し、行財政の見直しと改革に議会、町民の皆様

と手を携えて渾身の努力をして参りました。

この間、皆様からいただきました深いご理解と、絶大なるご協力に対しまして心から感謝申し上げます。

さて、過ぎし平成二十四年を振り返りますと、日本経済は東日本大震災による復興需要やエコカー補助金などに支えられる形で緩やかに回復してきましたが、欧州債務危機に伴う世界経済の減速や円高で輸出が大きく落ち込み、その影響が内需にも波及し始めてきています。また、ここ数年続いているデフレ経済からの脱却が未だ見通しが立たない状況のなかで、昨年の衆議

院議員選挙では自民党が過半数を大幅に上回る議席を確保し、公明党を含めた与党の議席数は再可決可能な三分の二を超えましたが、今年こそ安定した国会運営により日本経済が好転することを期待します。

社会面では、中国や韓国などの領土問題がクローズアップされ、国が尖閣諸島を購入する事態となりました。また、原子力発電所の安全基準が見直されたことに伴う再稼働延期が長期化するにより、電力の不足が予想されたことから、電力会社では計画停電の取り組みが実施されました。スポーツ面では、ロンドン・



町長 工藤 昇

オリンピックが開催され、日本選手団は過去最高のメダル数を獲得しました。北海道日本ハムファイターズも三年ぶりにリーグ優勝を果たし、今年には日本ハムが北海道移転十周年を迎えることから、球団の企画として、武田勝投手と森内壽春投手が今年一年、本町応援大使として活動してくれることとなりました。

文化面では、京都大学教授の山中伸弥氏がノーベル医学・生理学賞を受賞されました。次に町内産業に目を転じて見ますと、まず農業においては、昨年は天候に恵まれたことにより、檜山管内の水稲作況指数

